

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回文化財審議会
開催日時	令和3年7月29日(木) 15時00分～17時00分
開催場所	中央図書館 集会室
出席者	吉川節男委員、佐々木真理子委員、大久保善郎委員、塩入たま江委員、 松本伸行委員、杜多堯慶委員 事務局（深迫課長、堀副課長、佐藤主任、大野主事）
欠席者	小林浩委員
会議次第	1. 議案事項 （1）文化財保存事業補助金の交付について 2. 協議事項 （1）市指定文化財候補について 3. 報告事項 （1）令和2年度文化財保護事業について （2）令和3年度文化財保護事業について 4. その他
会議資料	・文化財保護事業に関する資料
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	吉川委員

会議内容

あいさつ（会長・課長）

1. 議案事項

（1）文化財保存事業補助金について

事務局：今年度も文化財保存事業費補助金交付申請書が文化財保存団体連絡協議会より提出された。富士見市文化財の保存及び活用に関する条例に従い、審議員の皆様にご意見を伺いたい。

委員：どこの保存団体も後継者不足の問題があるため、その問題を少しでも解決できるようこの補助金の交付は大切だと思う。また、教育委員会としてもお囃子や獅子舞の民俗文化財が後世へ続くよう支援をお願いしたいと思う。

委員：保存団体の関係者から、中水子囃子保存会は後継者不足で文化財保存団体連絡協議会への出席が厳しくなっていると聞いているが、現在どのようになっているのか教えてほしい。

事務局：中水子囃子保存会については、やはり保存会を維持するだけで大変という話があり、貴重な補助金を頂いても今後毎年使えるかどうか難しいため、補助金の交付は見送ってほしいとの要望があった。連絡協議会と生涯学習課で調整した結果、連絡協議会への出席は可能な限りしていただく方向でお願いし、また、中水子囃子保存会への補助金については一時交付をしないこととなった。今後中水子囃子保存会の活動がしっかりと再開された際には、改めて補助金交付をしていくことで連絡協議会と調整しており、行政としても中水子囃子保存会を支えていくこととしている。

事務局：中水子囃子保存会に限らず文化財保存団体連絡協議会の中でも後継者不足のため、協議会参加がなかなか難しくなってきているとお話がある。教育委員会としても様々な観点から支援や民俗文化財の保存を積極的に行っていきたいと思っており、委員の皆様からの貴重なご意見として承りたい。

議長：それでは、補助金の交付を承認よろしいか？

→ 委員承認。

2. 協議事項

（1）市指定文化財候補について

事務局：昨年度に審議頂いた市指定文化財候補について、これまでの調査成果に新たな発見・変更があったため、ここで報告したい。また、新たな指定文化財候補について事務局から提案したい。

— 事務局から市指定文化財候補（有形民俗文化財）の新知見の説明及び1点の文化財（考古資料）について概要と歴史的価値について説明 —

委員：市指定文化財候補に登録してしまったが、新知見により登録が変わる可能性はあるのか？

事務局：あくまで指定文化財候補へ登録された文化財でしかないため、候補としての登録はそのままとなる。新知見により文化財への新たな調査・研究は必要になってきたと思われるので、今後も事務局として詳細な調査・研究を行っていく予定である。

事務局：また、新規指定文化財候補については、一度この内容について持ち帰って検討していただき、次回正式に候補への登録に向けて議案を挙げさせていただくので、ご審議いただければと思う。本文化財は、市立水子貝塚資料館に常設展示しているので、機会があればご覧いただければと思う。

3. 報告事項

(1) 令和2年度文化財保護事業について

事務局：昨年度の埋蔵文化財調査については、令和元年度に比べて増加傾向である。また、調査だけでなく、埋蔵文化財調査報告書もいつもより多く刊行しており、文化財保護事業の中でも埋蔵文化財に関する業務が増加している。ここで、昨年度の実績を報告させていただきたい。

→ 事務局から令和2年度文化財保護事業の実績について説明

(2) 令和3年度文化財保護事業について

事務局：今年度における文化財保護事業の予定を報告したい。また、文化財保護事業と密接に関わっている資料館事業の予定についても、ここで紹介させていただきたい。

→ 事務局から令和3年度文化財保護事業について説明

4. その他

特になし